

●許容荷重

許容荷重

部材名	許容荷重	備考
支柱 梁間方向 W1219mmの場合	12.5 kN/本	
支柱 梁間方向 W914、610mmの場合	13.0 kN/本	
張出ブラケット L=305mm	6.0 kN/本	中央部
張出ブラケット L=610mm	4.5 kN/本	中央部
方 杖	3.4kN/本	
先行手すり	3.0 kN/本	許容水平抵抗力
4スパン用梁枠	27.0 kN/本	
4スパン用梁枠上の支柱	9.0 kN/本	
3スパン用梁枠	18.0 kN/本	
3スパン用梁枠	9.0 kN/本	
2スパン用梁枠	11.4 kN/本	
2スパン用梁枠	11.4 kN/本	

積載荷重

①作業床の最大積載荷重は、次表に示した値以下とすること。

梁間方向の支柱間隔	1層1スパンの積載荷重	1スパンの積載荷重合計(同時2層)
400mm以上914mm未満	250 kg	500 kg
914mm以上	連続スパン載荷の場合	500 kg
	1スパンおき載荷の場合	800 kg

- ②最大積載荷重は、床付き布枠の許容積載荷重を超えないこと。
 ③梁枠で構成された開口部上方の足場の全積載荷重は800kg以下とすること。
 ④1スパンの間の最大の積載は同時2層までとする。
 ⑤足場には最大積載荷重を表示すること。

●使用基準

使用基準

- (1)部材の一時的取外し
 作業のためにやむを得ず一部の部材を一時的に取り外すときは、取り外した状態における足場の強度が著しく低下しないことを確認するとともに、当該作業が完了した後は、直ちに現状に復すること
- (2)くさび緊結式足場用先行手すり
 くさび緊結式足場用先行手すりの使用は次によること。
 ①足場組立て及び解体時において、最上段に設置された先行手すりは、荷取り作業時においても取り外さない。
 ②足場の組立て又は解体作業が行われている足場最上層においては、先行手すりに安全帯を取付けて作業する。
 ③安全帯取付け設備として使用する場合は以下による。
 a. 安全フックは、先行手すりに掛け、1本に1人の使用とする。
 b. 作業床から地面又は衝突のおそれのある機械設備等までの垂直距離が2層以上で使用する
- (3)最大積載荷重
 足場には、見やすいところに最大積載荷重を表示すること。
- (4)点検
 足場は、労働安全衛生規則第567条に従って、各々の立場で適正な時期・内容で点検を行うこと。

●点検表

足場の組立て後等の点検表

		点検回数	回目
工事名:	組立開始日: 年 月 日	点検日: 年 月 日(曜日)	
工期:	点検実施理由:(組立後・変更後・悪天候後・地震後・定期・その他)、その他詳細()		
事業場名:	足場の用途:	元請確認	
組立て事業者:	足場の概要:(高さ m、幅 m)(層数、スパン数)、設置面状態()		
作業主任者:	点検者職氏名:		
点検事業者:	点検者経験等:		

点検項目	点検内容	良 否	是正内容(是正方法)	是正日	事業者確認
計画図(計画届) 部材	1 床付き布わく、支柱、布、腕木、手すり等、ベース金具等の脚部、補強材等は計画通りか				
	2 部材(床付き布わく、支柱、布、腕木、継手金具、緊結金具等)の損傷及び腐食がないか				
	3 足場部材として決められたものが使用されているか				
基礎	4 敷板、敷角に沈下等の異常はないか				
	5 脚部にねじ管式ジャッキ型ベース金具が使用されているか				
	6 ねじ管式ジャッキ型ベース金具は敷板に釘付けされているか				
	7 根がらみは所定の位置に取り付けられているか				
支柱	8 敷板と直角方向の根がらみが取り付けられているか				
	9 支柱の設置間隔(1.85m以下)はよいか				
布	10 支柱の接続部はピン差し等による抜け止めが行われているか				
	11 地上第一の布は、基底部から2m以下の高さに設けてあるか				
	12 布の両端のくさびは、建地の緊結部に緩みなく堅固に打ち込まれているか				
腕木(緊結部付 ブラケット)	13 布は、各層、各スパンに設けられているか				
	14 腕木は、建地と布の交点付近に設けられているか				
	15 腕木の両端のくさびは、建地の緊結部に緩みなく堅固に打ち込まれているか				
	16 腕木は各層、各スパンに設けられているか				
筋かい	17 腕木の垂直方向の間隔は2m以下毎に設けられているか				
	18 大筋かいの場合は、8層8スパン以下毎に交差二方向に設けられているか				
	19 専用筋かいの場合は、6層6スパン以下毎に交差二方向に設けられているか				
	20 先行手すりの場合は、全層全スパンに設けられているか				
	21 大筋かいは、建地と布の交差付近に設けられているか				
部材の緊結部	22 くさびによる緊結部は、くさびが緩みなく堅固に打ち込まれ緊結されているか				
	23 抜け止め機構が確実に作用しているか。				
	24 各部材間の緊結部に緩みはないか				
床付き布わく	25 床付き布わくは、各層各スパンに隙間なく設けられているか				
	26 支柱と隙間なく取り付けられているか				
	27 つかみ金具は、外れ止めのロックがされているか				
手すり、中さん (先行手すり)	28 手すりを布兼用にする場合、手すりは布材と同じものが使用されているか				
	29 高さ90(85)cm以上の手すり及び中さん等があるか				
	30 妻面にも手すり、中さん等が設けられているか				
壁つなぎ 又は控え	31 壁つなぎ又は控えは、水平・垂直とも決められた通りの間隔で設置されているか				
	32 壁つなぎ専用の壁つなぎ用金具が使用されているか				
	33 壁つなぎは壁面に直角(15度以内)に取り付けてあるか				
	34 控えは、緊結金具等により支柱に堅固に固定されているか				
	35 壁つなぎ又は控えのアンカーは、十分な強度のあるところに固定されているか				
階段	36 階段枠のつかみ金具は、外れ止めがロックされているか				
	37 昇降部に手すりは取り付けられているか				
	38 階段開口部に、手すり、中さん、幅木を取り付けてあるか				
	39 階段を計画通り設置しているか、位置・数は適切か				
梁わく	40 足場構面の開口部に、梁わくが使用されているか				
	41 梁わくを取り付けてある両端のスパンは筋かい等により補強されているか				
落下物防止用 幅木 メッシュシート 防網	42 幅木、メッシュシート、防網は計画通りか				
	43 幅木等は取り外されていないか				
	44 幅木は脚柱に確実に取り付けられているか				
	45 メッシュシートは水平支持材に取り付け、はとめで緊結されているか				
その他	46 防網のつり網は確実に緊結されているか				
	47 朝顔等の付帯設備の取り付けは問題ないか				
	48 最大積載荷重は表示されているか				
	49 作業主任者名とその職務は表示されているか				